

## 試験事例 〈穀物〉



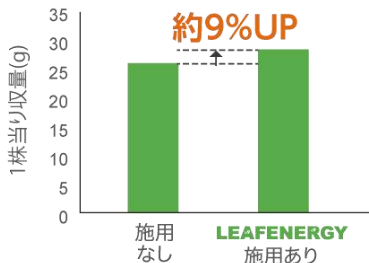
### 水稲 | 収量比較・食味

#### ●収量（2020年）

水稲（ハツシモ）試験場所：岐阜県

圃場：A

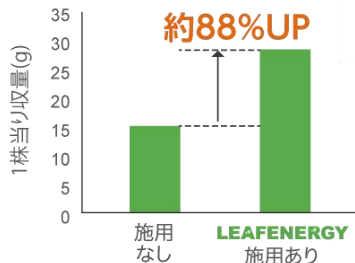
約9%UP



- 栽培条件:梅雨前の6月9日定植
- 施用条件:500ml/10aを希釈して苗に散布(6月7日)

圃場：B※日照不足下

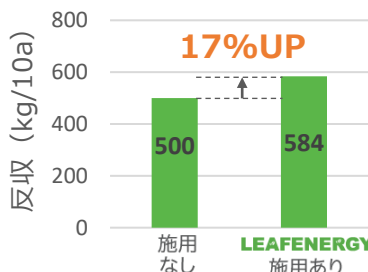
約88%UP



- 栽培条件:梅雨中の6月25日定植
- 施用条件:500ml/10aを希釈して苗に散布(6月24日)

#### ●収量（2023年）

水稲（いちほまれ）試験場所：福井県



- 栽培条件：5月20日移植 9月16日収穫
- 施用条件：出穂前に4倍希釈してドローン散布（8月2日）

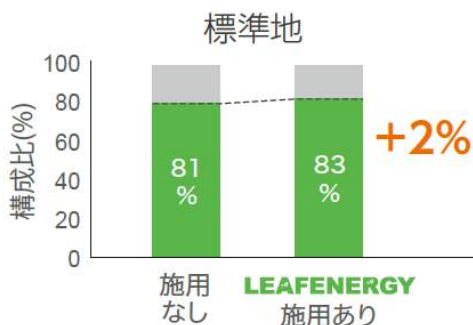


LE散布

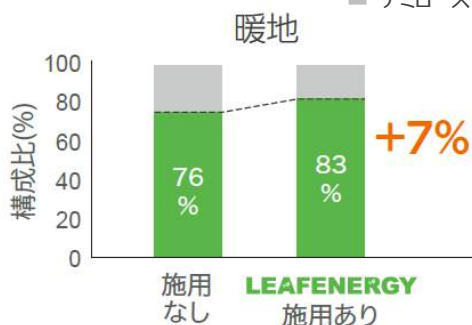
無処理

#### ●お米の粘り、歯応えを上げるアミロペクチンの割合

■ アミロペクチン  
■ アミロース



- 作物:水稲(品種:ミネアサヒ)
- 試験場所:愛知県
- 施用条件:500ml/10aを希釈して苗に散布(6月7日)



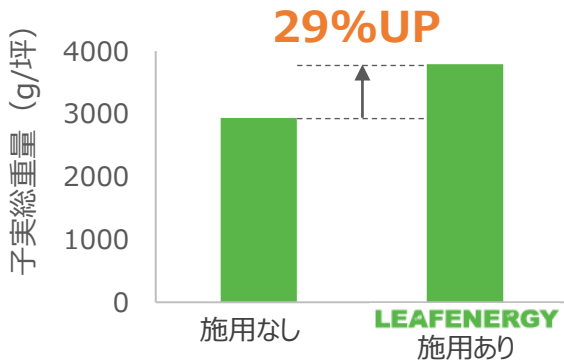
- 作物:水稲(品種:ニコマル)
- 試験場所:宮崎県
- 施用条件:500ml/10aを希釈して苗に散布(6月7日)

## 試験事例 〈穀物〉

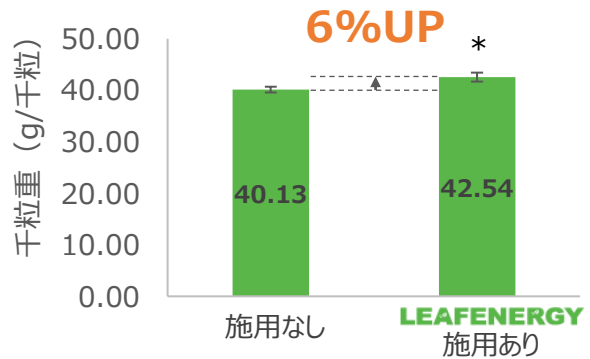
### 小麦 | 収量比較・品質確認

- 作物:小麦 (品種:きたほなみ)
- 試験場所:北海道
- 栽培条件:播種9月25日 収穫7月28日(調査7月23日:坪刈り1.8m×1.8m) 条間 12.5cm
- 施用条件:幼穂形成期前に1000倍希釈して葉面散布(5月13日)

#### ● 収量 (子実重量)

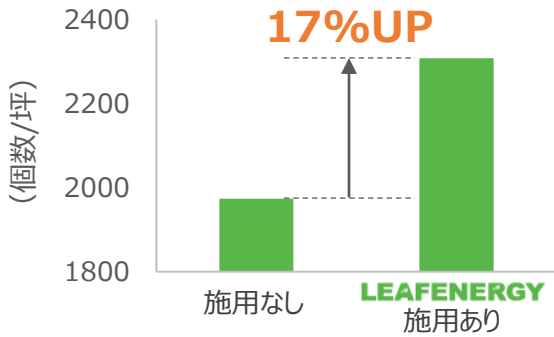


#### ● 収量 (千粒重)

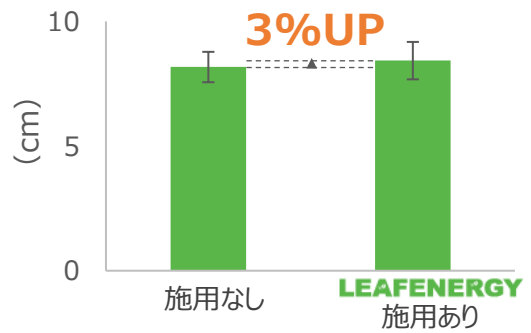


\*は施用なしに対して有意差があることを示す (t-検定,  $p < 0.05$ )

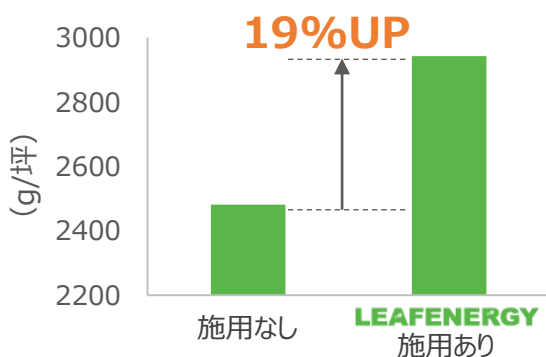
#### ● 穂数



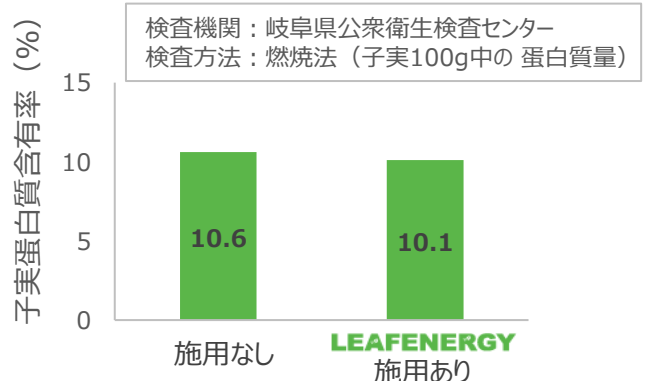
#### ● 穂長 (坪平均値)



#### ● わら重量



#### ● 品質 (子実蛋白質含有率)



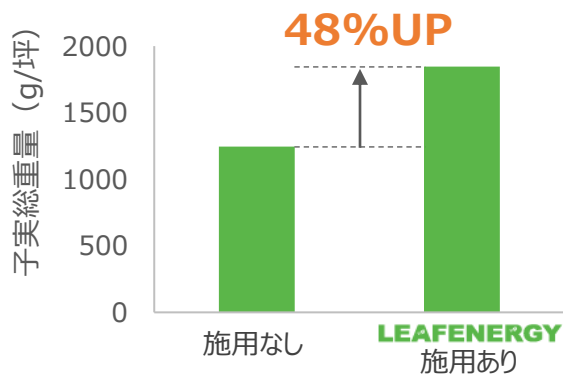
検査機関: 岐阜県公衆衛生検査センター  
検査方法: 燃焼法 (子実100g中の蛋白質量)

## 試験事例 〈穀物〉

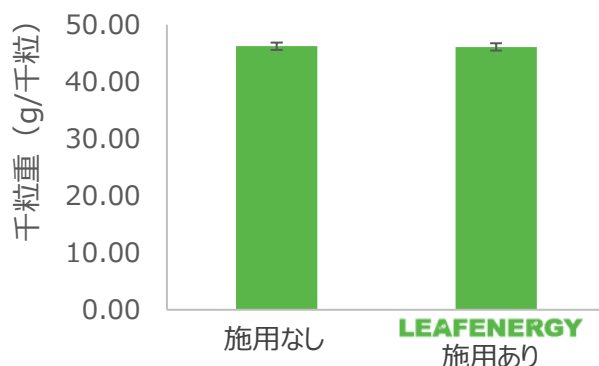
### 大麦 | 収量比較

- 作物:大麦 (品種:札幌2号)
- 試験場所:北海道
- 栽培条件:播種4月26日 収穫8月5日(調査8月1日:坪刈り1.8m×1.8m) 条間 12.5cm
- 施用条件:幼穂形成期前に1000倍希釈して葉面散布(6月6日)

#### ● 収量 (子実重量)



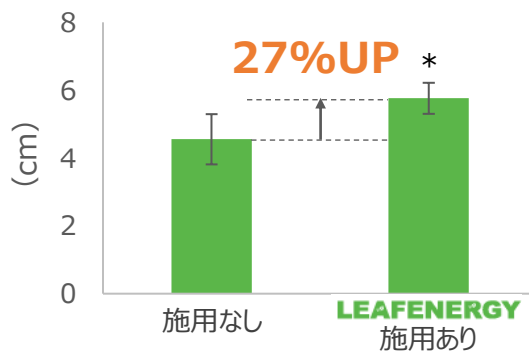
#### ● 収量 (千粒重)



#### ● 穂数

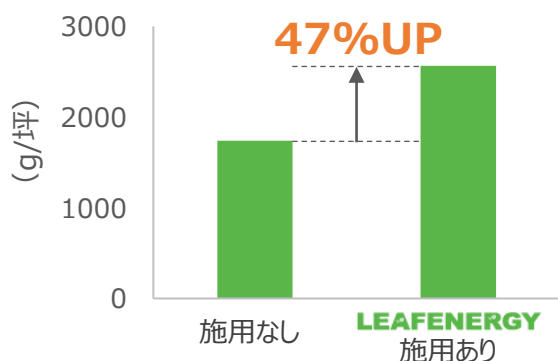


#### ● 穂長 (坪平均値)

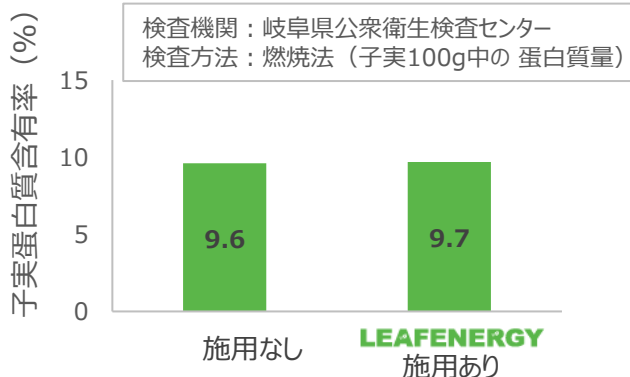


\*は施用なしに対して有意差があることを示す (t-検定,  $p < 0.05$ )

#### ● わら重量



#### ● 品質 (子実蛋白質含有率)



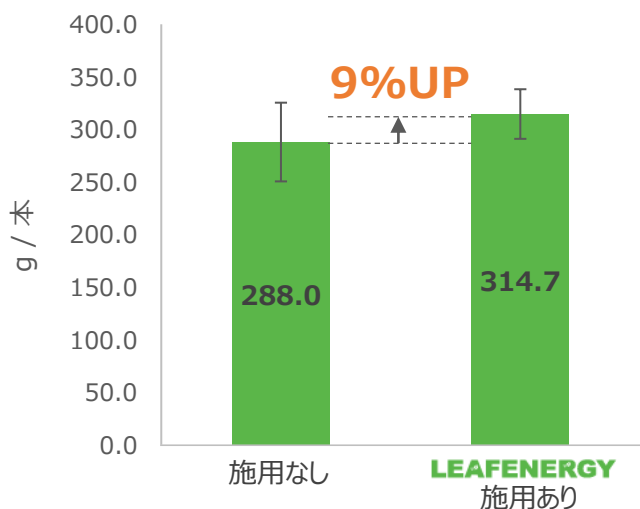
## 試験事例 〈穀物〉

### トウモロコシ | 収量比較・糖度

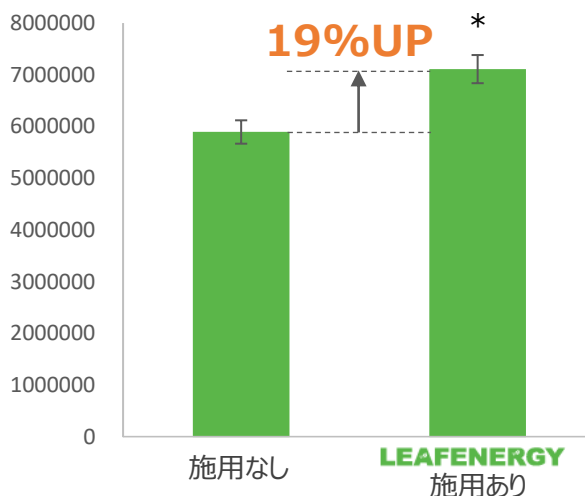


- 作物:トウモロコシ (品種:ゴールドラッシュ)
- 試験場所:石川県
- 栽培条件:播種5月14日 苗定植5月29日 収量調査8月3日
- 施用条件:100倍希釈して葉面散布(5月29日)

#### ● 収量



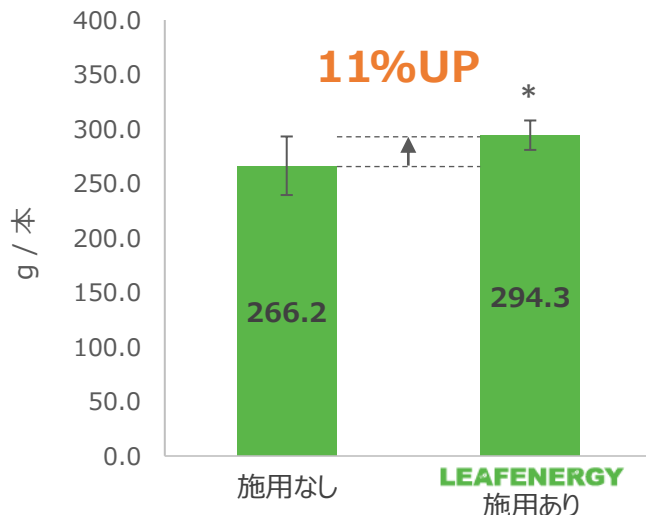
#### ● 糖濃度



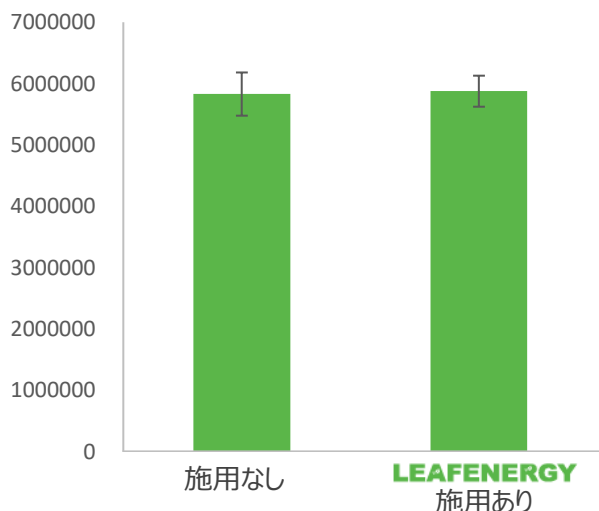
\*は施用なしに対して有意差があることを示す (t-検定,  $p < 0.05$ )

- 作物:トウモロコシ (品種:恵ホホワイト)
- 試験場所:石川県
- 栽培条件:播種6月14日 補植6月20日 収量調査8月17日
- 施用条件:99倍希釈して葉面散布(7月26日)

#### ● 収量



#### ● 糖濃度



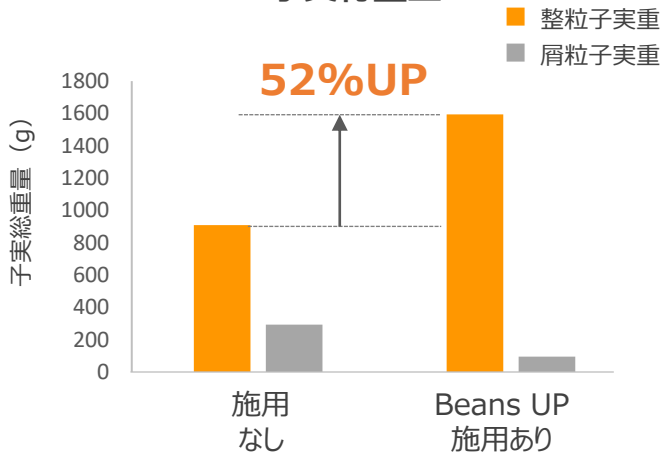
\*は施用なしに対して有意差があることを示す (t-検定,  $p < 0.05$ )

## 試験事例 〈穀物〉

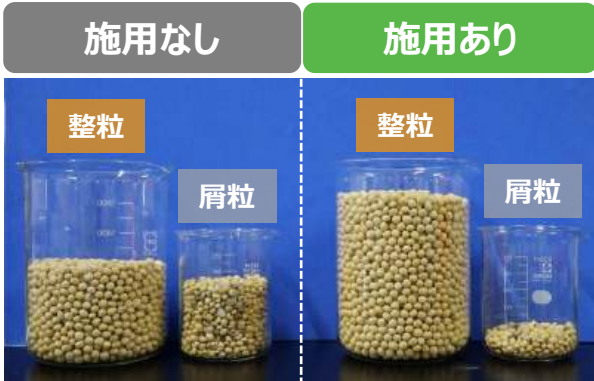
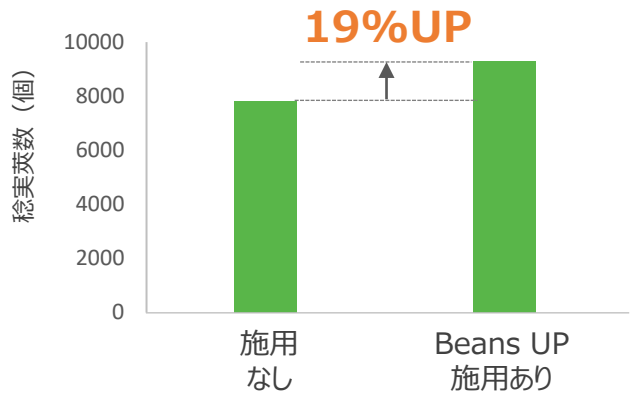


### 大豆 | 収量比較

#### ● 子実総重量



#### ● 稔実莢数



- 作物：だいず（品種：フクユタカ）
- 試験場所：滋賀県（油日アグリサーチ）
- 栽培条件：播種6月20日 定植6月29日  
収量調査11月28日～12月14日
- 施用条件：花芽形成期に300倍希釈して  
噴霧器で葉面散布（7月25日）